

対象年度		令和 8年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名		文化振興事業						予算事業名		文化振興事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	文化芸術基本法、結城市文化芸術条例			
				10	05	07	0501	経常経費					
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造 芸術文化を楽しむ機会の充実						事業の区分		主要事業			
								担当課係等		生涯学習課 文化係			
事業期間		継続 （ 年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市民の文化活動を支援し、また、その成果を発表する場の提供を行うことによって、本市の文化芸術活動の振興を図る。 令和3年3月に策定した「結城市文化芸術推進基本計画」に基づき、市民が文化活動に精力的に取り組める環境を整備する。							市民文化センターや情報センターを本市の文化・芸術活動の拠点として位置づけ、市民の文化活動の支援を実施するため、結城市文化芸術条例の施行に伴い、基本計画を策定した。計画は本市を含め県内8市（石岡、常総、牛久、つくば他）、小山市で策定されている。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
○結城市文化協会への活動支援（補助金交付・活動周知及び啓発） ○結城市文化芸術審議会の開催及び運営							・市民 ・市文化協会 ・文化芸術活動を行う団体等						
							【事業をとりまく環境の変化】 社会情勢が急激に変化しつつある中、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要である。市として、体系的に文化芸術活動を推進するため、平成28年4月に結城市文化振興条例を施行し、令和3年3月に結城市文化芸術基本計画を策定した。						
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行政管理				・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行政管理				・市文化協会へ補助金交付及びゆうき市文化祭の開催支援 ・文化芸術審議会の開催、基本計画の進行政管理					
■ 事業費													
				R06年度		R07年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	2,207	806						
歳 入 計 （ 千 円 ）				2,207		806							
歳 出 内 訳	節 （ 番 号 ＋ 名 称 ）				金額 （ 千円 ）		金額 （ 千円 ）						
	01	報酬			24		30						
	10	需用費			147		171						
	13	使用料及び賃借料			131		200						
	18	負担金補助及び交付金			1,905		405						
歳 出 計 （ 千 円 ） （ A ）				2,207		806							
伸 び 率 （ % ）						-63.47							
備 考	総合計画103ページ 予算書204ページ												

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	ゆうき市文化祭の開催	回	目標	2.00	2.00	0.00
	ゆうき市文化祭において、加盟団体が合同で開催する展示発表会、音楽発表会の開催数		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	文化協会加盟団体・個人数	団体・人	目標	38.00	38.00	0.00
	ゆうき市文化協会に加盟している団体及び個人の総数		実績	38.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	文化祭等の文化芸術イベントを開催することで、市民の文化的生活の向上を目指し、未来の子どもたちの文化育成につなげられるため。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	結城市文化協会が主体的に活動を行っている。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	ゆうき市文化祭は、文化協会が主催し、準備や運営まで主体的に行い、市補助金を交付するなどして、財政面を含めて活動してきたが、年齢の高齢化を原因に事務局の負担が増えてきている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	文化協会会員の高齢化、若手人材不足により、文化祭の運営や加盟団体の対応に人員と時間を要する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	文化協会への支援は、加盟団体や個人が主であり、それ以外の団体等との連携が課題であるが、ゆうき市文化祭には多くの市民が訪れている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	文化祭で合同展や音楽発表会などを開催することで、来場者の増加に繋がっている。文化祭を通じ、市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	合同文化祭の開催は定着し、市民が文化に触れる機会を増やすことができている。それにより、文化祭の来場者数増加に繋がっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ゆうき市文化祭は、市民が直接、結城の文化に触れる行事として定着している。しかし、文化協会会員の高齢化が懸念されており、文化祭の開催継続に向け、若年層を取り込み、幅広い世代で参加する仕組みをつくるのが大きな課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民の文化活動に大きく貢献している文化協会の発展を促進することによって、市民文化のさらなる進行を図っていくとともに、結城市文化芸術基本計画に定めた基本目標の実効性を高めるため、計画のフォローアップを行い、時代や市民ニーズに即した内容に随時見直しを図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 結城市文化芸術推進基本計画に基づき、結城市文化協会等の団体と連携を図り、文化芸術事業を体系的に実施し、本市の文化振興を図り、文化芸術を活かした街づくりを推進していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり
管理課連絡欄